

館長あいさつ

黎明館には、毎日のように全国各地の博物館、美術館などから催し物の案内、そしてポスター掲示の依頼が届きます。どれもこれも興味深くコロナ禍でなければ今すぐにも観にいききたいものばかりです。

全国には5,700余りの博物館や美術館などがあるようです。この中には、150年の歴史を持つ東京国立博物館など国立の施設や子どもの黎明館のような県立や市区町村立の施設、そしてサントリー美術館のような私立の施設など個性豊かな施設が星のごとくあります。

これらの施設が、自分の施設の特性を活かして、それぞれの収蔵品を中心にした常設展示を行うと共に、設定した

テーマに沿った優品を国内外の施設から集め展覧する特別展などに全力を傾注しています。国内至る所で様々に工夫を凝らした展示会が毎日のように開催されています。黎明館としても、明治百年を記念して設置されたという特性を踏まえ、全国の施設と切磋琢磨しながらも、さらに連携・協力を深め、多くの皆さんに楽しんで頂ける展示をこれからも行っていきたくと考えています。

なお、黎明館は館内の展示だけでなく、お堀と石垣、そして城山に囲まれた敷地内の散策もお薦めです。まずは復元された御楼門です。桜島を背景にカメラに収めるのも良いでしょう。本館の裏側は城山の麓にあたり、古民家や茶室があり趣のある佇まいです。またこの時期には樹木の濃い緑から淡い緑までのグラデーションが美しく、通り抜ける風が爽や

かたましく風薫る新緑を楽しめます。

昨年整備された正面の庭園も楽しんでいただきたいと思います。思っていましたら、先日想定外の使われ方をしていました。家族連れて来られたと思われる小さな子供達の歓声が聞こえてきました。子供達にとって芝生の上は鬼ごっこにうってつけ、築山のちょっとした斜面は即席の滑り台になっていました。さらには植え込みではかくれんぼが始まっていましたが、小さい子はすっぽり隠れてしまうので見つけるのはとても難しそうでした。遊具などなくても子供達にかかるとどんな場所もあつという間に遊び場になってしまいます。

黎明館には色々な楽しみ方があります。ぜひお出でいただき自分なりの楽しみ方を見つけていただければと思います。心よりお待ちしております。



館長 鎮寺 裕人

〈令和4年度の転出・転入者〉

| 転出者 | | |
|---------------|-------|---------------------------------------|
| 職名 | 氏名 | 転出先・職名 |
| 総務課長補佐(兼)総務係長 | 今村 成人 | 始良・伊佐地域振興局農林水産部 農林水産総務課長補佐 総務企画係長 |
| 学芸課 学芸調査係 | 平 美典 | (公財)鹿児島県文化振興財団 埋蔵文化財調査センター 調査課 調査第一係長 |

| 転入者 | | |
|---------------|-------|-------------------------------|
| 職名 | 氏名 | 元所属・職名 |
| 総務課長補佐(兼)総務係長 | 松元 美幸 | 知覧食肉衛生検査所主幹(兼)業務課総務係長 |
| 学芸課 学芸調査係 | 西野 元勝 | 鹿児島県立埋蔵文化財センター 調査課第一調査係 文化財主事 |

黎明館 40年の歴史

黎明館は2023年に開館40周年を迎えます。今年度のたより黎明では、40年の歴史を振り返りながら、各時代の黎明館NEWSをご紹介します。

1969年4月、明治百年記念館建設に向けた動きが本格化する中、記念館に展示する資料を収集するため、テレビ、ラジオ、広告紙等を通じて、一般県民や市町村、学校等に協力が呼びかけられました。

開館までの流れ

- 1966.10 明治百年記念事業委員会設立
- 1968.9 鹿児島県歴史資料センター黎明館発足
- 1969.4 明治百年記念館建設調査室設立
- 1980.8.7 明治百年記念館起工式



起工式の様子 (1980.8.7)

1983 1984 1985 1986

- 1.20 公募により名称が決定 ——黎明館 NEWS ①
- 4.1 鹿児島県歴史資料センター黎明館発足
- 5.12 「大鹿児島展」の一環で「黎明館展」開催 (大丸東京店、5.17まで)
- 6.30 黎明館だより「黎明」vol.1 No.1 発行
- 10.20 開館記念式典挙行政 ——黎明館 NEWS ②
- 10.20 常設展示解説書『展示への案内』『鹿児島島の歴史と文化(テーマ展示図録)』『鹿児島島の歴史と文化(部門別展示図録)』発行
- 10.21 開館(一般公開開始) ——黎明館 NEWS ②
- 10.21 開館記念特別展「三巨匠をめぐる名作展」-所蔵品- 開催 (11.8まで)
- 10.21 開館記念特別展「寄贈資料展」(11.10まで)

- 3.31 常設展示解説書補説『鹿児島島の歴史と文化』-展示の背景- 発行
- 5.18 昭和天皇御来館
- 6.1 常設展示入館者50万人突破

開館以来2年7カ月12日(実質開館788日)で50万人を突破しました。



第35回全国植樹祭にご出席のため来館され、黎明館にもご来館されました。

黎明館 NEWS ② 黎明館開館!



翌日 21 日には一般公開も開始され、初日から多くの来館者でにぎわいました。

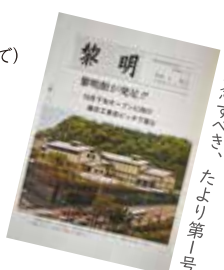
10月20日、当時の文部大臣をはじめ約500人の来賓参列のもと、館の前庭で盛大に開館記念式典が挙行されました。



入館者第1号

黎明館 NEWS ① 館の名称決定!

応募総数 1166 件の中から、最多の応募があった「黎明館」を愛称にすることが決定。館の機能を示すものとして「歴史資料センター」がつけられ、正式名称が決定しました。



記念すべき、たより第一号

開館までのあゆみ

計画から開館までおよそ15年!

明治維新から100年を迎えるにあたり、郷土の歴史や文化遺産を後世へ伝えるために何かできないか、というところから、1966年10月に「明治百年記念事業委員会」が設立されました。これに端を発し、1969年4月に「明治百年記念館建設調査室」が設置され、記念館建設事業が本格的に動きはじめます。幾度にもおよぶ協議や委員会を経て、15年あまりの歳月をかけて黎明館の開館に至りました。



明治百年記念館建設懇談会

1971.12 東京

1971.1 大阪

1987 1988 1989 1990 1991 1992

- 3.31 「調査研究報告 第1集」発行
- 10.1 常設展示解説書『総合案内』発行

黎明館 NEWS ③ NHK 大河ドラマ「翔ぶが如く」ロケーション!



多くのエキストラも参加しました



裏から見ると、セットであることが一目瞭然!

NHK 大河ドラマ「翔ぶが如く」のロケが黎明館で行われました。当時はまだ復元されていなかった御楼門がセットで再現され、国道を一時交通規制するなど、大がかりな撮影が行われました。

- 10.17 NHK 大河ドラマ「翔ぶが如く」ロケーション (10.18まで)

黎明館 NEWS ③

- 10.16 常設展示入館者100万人突破

開館から丸7年を迎える開館記念日の直前、常設展示の入館者数が100万人を突破しました。



この石碑と同じ字が使われています

黎明館 NEWS ④ 初の海外での展示!



テープカットで華々しく開幕

第8回鹿児島・香港交流会議に合わせて、黎明館所蔵の美術作品を紹介する展覧会が香港で開催されました。橋口五葉や黒田清輝など、計55点の作品が展示され、香港市民を中心に多くの人に観覧されました。

- 3.31 常設展示解説書『テーマ展示案内書』発行
- 10.18 「鹿児島芸術展(Kagoshima Art)」開催(香港芸術館、1993.1.18まで)

黎明館 NEWS ④

ここが一緒! ここが違う! 黎明館今昔

たよりタイトル「黎明」の文字 鎌田要人元知事の直筆である「黎明」の文字。誌面の構成やデザインは少しずつ変化してきましたが、第1号から40年近く、タイトルの文字は受け継がれています。

ここが違う! チケットの販売方法 開館当時は正面玄関横のチケットブースで観覧券を販売していました。